

平成15年度第1回岡山市総合政策審議会 都市・交通部会の主な意見

- 1 日時 平成15年10月15日(水) 13:30~15:30
- 2 場所 ほっとプラザ大供2階第2研修室
- 3 参加者 委員15名中8名出席
岡山市：池上都市整備局長、萩原都市開発部長、青木公園緑地部長
坪井土木部長、安藤都市建築部長ほか
事務局：高橋参事ほか

4 傍聴者 なし

5 会議概要

- (1) 部会委員および市幹部職員紹介
(2) 議題の説明、質疑応答および事務連絡

6 主な意見

1 岡山市子育て支援市民住宅制度について(家賃助成型事業)

(質問) 家賃助成の条件である月額2万円とか住居面積70平米とか未成年の子が3人以上同居というのは何か根拠がありますか。

(回答) 月額2万円については、中心市街地とその周辺部の駐車場費と共益費の合計の差が概ね2万円程度であり、その金額が妥当かどうかは別にして中心市街地に住む動機になりうると考えております。

住居面積については、3人以上子供を抱えられている中堅ファミリー層の方に、良質な住居を提供しようとする最低70平米は必要と考えます。また、人数については、中心市街地の活性化のためには少子・高齢化対策とともに人口の回復が必要であり、ファミリー世帯を中心部に誘導することとあわせ、少子化対策として子育て支援の必要性から多子世帯への助成を図るため3人としております。

(質問) 上記のような厳しい条件下で50戸も募集して集まるのか。

(回答) ハードルが高いとは言われております。もっと、高齢者を含んだ3世代で子供が2人いるというような世帯への支援等、もっと間口を広げてはという意見もあるので検討します。

(質問) どれくらいの事業規模になるのか。

(回答) 5年間の合計で、1億800万円となります。

(質問) 岡山市政として、中心市街地の人口増大、子育て世代に対する支援という点からすると、非常に合致した政策だと思う。しかし、家賃助成を賃貸に限る必要はないのではないか。分譲の方が定住率は高いので、検討されたらどうか。

(回答) 取得助成(補助)も当然案の中にありましたが、子育て支援市民住宅制度という

制度の中で、整理が難しい部分があり、まずは賃貸ということで提案させていただいております。両方を取り込んだかたちのものも検討します。

(その他の意見)

- 定住人口の増大と子育て支援、特に子育て世代を支援するとなっているが、もう少し違った形でできないか。
- 10万円を超えるような家賃を払う人で、岡山に定住しようとする人は、郊外の地価の安いところに土地を買って建物を建てて住む。
- 10万～15万円の家賃のうち、2万円を貰うために中心市街地に住もうと思う人はいない。居るのは住居費を手厚く貰っている転勤族ではないか。
- 本当に子育てで定住させようとするなら、例えば子供の通学の支援をしてあげるとか。コミュニティーバスでも運行させるとか。
- 市のいろいろな補助金制度(児童福祉手当等)との整合性からすると、所得制限を設けないのは問題があるのではないか。
- 子育て支援というならば、父子、母子家庭に対するもの、また女性が安心して仕事ができる支援としての住宅政策があっても良いのではないか。
- 基礎データ(数値等の根拠)を明示して事業説明を行うこと。

(総括)

中心市街地の活性化と子育て支援という大きなテーマゆえ、練り直して再提案いただきたい。

2 用途地域の指定のない区域の建築規制の指定について

(質問) 最上稲荷の沿道は、近隣商業地とか商業地域に指定したほうが良いのでは。

(回答) 当該地のように市街化調整区域から離れた、いわゆる飛び地を市街化区域の近隣商業地域等に指定するためには一定の条件があり難しいとは聞いていますが、例えば近隣商業地域に指定すると、確かに建ぺい率は80%になりますが、今度は逆に防火関係の規制が厳しくなります。外壁や開口部などの規制があり、建て替えされる方にとっては負担となることは考えられます。

(総括)

火事になった際のお客さんの安全を考えると近隣商業地域の防火地域に指定する方が良いのではとも思われるが、このことについては是非今後の課題としてご検討いただきたい。

3 岡山駅西口広場及び東西連絡自由通路の整備について

(質問) 西口広場計画案の9つあるバスバースであるが、現在の観光バスの流入実態を調査し、路線バスと観光バスが同じような場所に着くことに対して支障は無いか是非検証をお願いしたい。

(回答) 現在、9バースの内訳ですが、5バースが路線バス、2バースが高速バス、残り2バースが観光バスという整理をしておりますが、これら運用方法等の精査も必要と考えます。

(質問) 総事業費189億というのは現在の試算と思いますが、今の時代ですから減ることもあるでしょうが、増える可能性が高いのでは。

また、市とJRでやるのでしょうか、国や県の補助はないのですか。

(回答) 非常に市の財政も厳しい折、事業費の精査をしております。若干安くなるだろうと見当をつけております。

また、補助のお話ですが、市の事業費負担145億のうち、約2分の1が国の補助金です。県の財政的な補助、支援ですが、このように国の補助事業に採択していただいた過程において、県の側面的な支援をいただいております。また、県としても財政状況が非常に厳しい中で、支援は難しいとのことでした。

(総括)

県が財政的な補助をすべきかどうかという話ですが、岡山県の窓口、岡山駅の整備事業でもあり、市民から見れば出すべきであるとみんな思う。7年もかかってやることですから、今後周辺整備等に対する県の援助を引き続きお願いしていただきたい。